



町陸上競技場で2月24日、第40回益城町一周駅伝大会が行われ、参加した選手らは春風が通り抜ける中、懸命にたすきを繋ぎました。

駅伝大会には、昨年を超す、全21チームが参加。町内を一周する全8区間の19・1kmのコースを沿道から送られる観客らの声援を励みに、全力で駆け抜けました。

また、開催40回の節目を迎え、記念大会となつた今大会には、元

旭化成陸上部の小島忠幸選手と瀬戸口賢一郎選手が招待され、参考した各チームとともに激走しました。小島選手が1～2区間、瀬戸口選手が3～8区間を2人だけでたすきを繋ぎ、白熱したレースを繰り広げ、観客らを沸かせました。

レース後は町婦人会（富田セツコ会長）から豚汁とまぜご飯約600食が振る舞われ、選手や関係者の疲れを癒してくれました。

春風を背に 益城を駆ける

第40回益城町一周駅伝大会

レース終盤、力強くたすきを受け取るアンカーの選手



各部門3位までの記録

【中学の部】		【体協の部】		【一般の部】	
甲佐中A	優勝	木山中	優勝	高遊原南消防クラブA	優勝
第3位	1時間6分5秒	第2位	1時間1分7秒	第2位	1時間2分37秒
御船中	9分17秒	木山体協	4分21秒	高遊原曹友会	2分37秒
第3位	1時間9分17秒	第3位	1時間7分12秒	高遊原消防クラブB	1時間7分30秒
木山中		津森体協		第3位	1時間12分42秒

40周年記念 招待選手

小島 忠幸選手 (写真右)
'99世界選手権セビリア大会マラソン日本代表
瀬戸口 賢一郎選手(写真左)
第65回びわ湖毎日マラソン 第6位



小島選手

沿道からの大きな声援の中、気持ちよく走れました。それぞれ

のチームが1本のたすきを通じて絆を深められたと思います。感じることができました。機会があればまた呼んでもらいたい。

瀬戸口選手

町内一周のコースを走ってみて駅伝の楽しさというものを感じることができました。機会があ